

## 令和元年度第2回 湖南省環境審議会 議事要旨

日 時	: 令和元年 8 月 7 日 (水) 15:00～16:30
開催場所	: 湖南省共同福祉施設 1 階大会議室
出席委員	: 鈴木委員、野呂委員、藤井委員、池田委員、小西委員、足立委員、 吉川委員、高畑委員、相宗委員、内林委員、北村委員 (11 名)
欠席委員	: 及川委員、上西委員 (2 名)
事務局	: 井上総務部次長、谷口生活環境課長、安田主幹、伊藤主査、渡辺専門員 (生活環境課) (5 名)

### 1. 開会 (司会：総務部生活環境課長)

あいさつ

- ・会長あいさつ

### 2. 議事 (議長：鈴木会長)

審議事項

- パブリックコメントの報告について
- 第二次湖南省環境基本計画案について
- 第二次湖南省環境基本計画概要版案について
- その他

事務局より報告事項

審議会委員意見	事務局
<p>会長：パブリックコメントについて、意見は無かった。よくできていると理解してよいのか、難しいところではある。</p> <p>次に第二次湖南省環境基本計画案について事務局から説明をお願いしたい。</p> <p>会長：第二次湖南省環境基本計画案の修正箇所についての説明について意見、質問があればお願いしたい。</p> <p>委員：説明外の部分でもよいか。</p> <p>会長：本編についてなら構わない。</p> <p>委員：9 ページの紫雲の滝が、三雲区と書いてあるがこれは東寺だ。三雲を削除したらよいのではないか。他の写真は場所が書いていない。55 ページの環境審議会のところ、最後は「企画・実施します」と書いてあるが、</p>	<p>第二次湖南省環境基本計画案について説明。</p>

環境審議会は諮問機関であるため、実施機関ではない。「実施する」と記載されているのはおかしいのでは。例えば「企画・実施を促します」と表現を少し変えた方が良いと思う。環境審議会は基本条例の中でも、諮問機関という位置づけになっている。もう一点、28ページの事業系のごみが増えていると書いてあるが、市によるごみの収集量の推移で、事業系の一般廃棄物になるが、大規模事業所は自社で処理をしていると思われる。市が収集しているのは、どのような事業所なのか。市に収集してほしいという事業所が増えると困る。

委員：「市による」と記載すると、湖南省がやっていることになる。「市内の」などの表現にしてほしい。

会長：28ページの「市によるごみ収集量の推移」という表現ならば誤解を招くのではないかという指摘である。

委員：指定業者だけのものなのか。指定業者以外のものあるのでは。

会長：「市による」とすると、市が収集していると思われるということだ。

会長：9ページ紫雲の滝の「三雲区」を削除でよいか。

事業所のごみを市は収集していない。市の管轄の一般廃棄物ということで増えているということである。

市が収集しているのは家庭系ごみの一般廃棄物である。事業系は市が把握しているのは一般廃棄物の中の可燃ごみであり、市が許可している収集運搬業者から出てくる実績報告に基づき作成している。一般廃棄物の事業系と言われるものは市が収集しているものではないため表現を改める。

市内の一般廃棄物は市が許可を出している事業所のみ運搬できる。自分自身で持って行かれている部分はある。

「市によるごみ収集量」の表現を変更する。

削除する。

会長：写真関係で同じ箇所は他にないか。また 55 ページ、対応一覧表の一番下の指摘と同じだが、「環境審議会は諮問機関であり、実施機関でもあるためそのままとした」とあるが諮問機関というウエイトが非常に高いという意見が他委員から出たということだ。再度確認をしてほしい。

（副会長）「実践的に取り組みます」程度はどうか。「環境保全に向けた実践に取り組みます」程度にしてはどうか。

（会長）

54 ページの図一番左下、環境審議会の下に「審議・提言」「企画・提案・実践」と記載があり、それを受けたということだ。条例では「審議会は次の事項について調査、審議する」となっているので、趣旨と合わないということだ。

会長：その 3 点の修正をお願いしたい。

委員：元号と西暦の問題だ。世界で元号を使うのは日本だけだ。西暦で括弧を入れて元号を入れるようにしていただきたい。33 ページの topic 「廃食用油回収に協力しましょう」の図柄に「OIL」とあるが「廃食用油」にしてほしい。28 ページのエネルギーのところ、4 行目に「自然エネルギーは地域のもの」という条例の文言の目指すところがある。「また、条例において」と入れてはどうか。30 ページの topic 「今 1.3℃上昇しており、21 世紀末（2100 年ごろ）には、約 2.9℃も上昇すると予測されています」とあるが「このままいけば 21 世紀末にはこれだけ上昇してしまう」としてはどうか。

会長：4 点お願いしたい。28 ページのエネルギーの 4 行目のところに「条例」を加筆してほしい。

54 ページ審議会が一番下の具体的な取り組み「企画・提案」で終わりにし「実践」を削除する。55 ページは「実践的な取り組みを企画・提案します」でどうか。

28 ページの「自然エネルギーは地域のもの」の

<p>会長：33 ページイラストの「OIL」はどうか。</p> <p>会長：元号の統一についてはどうか。</p> <p>委員：西暦統一できるのか。</p> <p>副会長：「令和」は国民にとって親しみやすい。両方載せてはどうか。</p> <p>委員：元号が先で括弧西暦表記は行政の中でもある。</p> <p>委員：令和を見慣れている。市が決めている方法でよい。他は知らないが。</p> <p>会長：平成 30 年（2018 年）と統一されているように見える。</p> <p>委員：他の資料を見てもそのようだ。</p> <p>会長：表紙も「令和元年（2019 年）10 月」と中身に合わせることになるのか。</p> <p>会長：概要版の表記はどうなるのか。</p> <p>会長：30 ページ topic、滋賀県の将来天気予報の「20 世紀末」という前に、「このままいけば」を入れるということだが。</p> <p>会長：他 意見はあるか。</p> <p>委員：本編 1 ページ「こうした中」のくだり 3 行目、「様々な開発」というフレーズだが、様々な開発というのが全部だめに聞こえるのではないかという指摘があった。その前後を見ると「地球温暖化の進行に伴う猛暑日」「異常気象」「被害の増加」「生物の乱獲」とマイナスのイメージ的な話だ。「放棄地の増大による喪失や被害」「食料の問題」ますます深刻化</p>	<p>前に、「条例において」を加える。</p> <p>廃食、食用だけですので、限定した形に修正する。</p> <p>みなさんの意見をお聞きしたい。</p> <p>市の計画は元号が先で西暦が括弧書きで統一しており、それに基づき環境基本計画も作成した。必ずそのようにしなければならないわけではないので、意見を聞かせてほしい。</p> <p>市様式でその書き方としている。</p> <p>併記することとしたい。</p> <p>併記することとしたい。</p> <p>入れることとしたい。</p>
---	---

するという意味では比較的ネガティブな内容が書かれているが、開発に関してだけは「様々な開発」にとどまっている。発展するために色々な開発があり得ることを否定するのかという意見がある。ここの表現を考えてはどうか。例えば「環境への影響が著しい開発」など、変えた方がいいのではないか。

会長：意味はよくわかる。

委員：「乱開発」というフレーズにするのも一つの方法だ。乱開発という言い方なら誰も「ちょっと待って」と感じると思う。

委員：環境保全条例の中に開発するときの環境面での評価というのを入れている。「条例に合わないような開発」としてはどうか。事前に審査する都市計画上の開発許可の手続きもある。

委員：「環境に影響を及ぼすような開発」はどうか。

委員：開発自体は環境をよくする可能性もある、維持するものもある、マイナスもある。

委員：少なくとも開発というのは環境に負担がかかる部分は必ずある。例えば地域の生活環境の改善を図ることができる道路工事であれば、やるべきだというのが市としての考えだと思う。例えば「生物の乱獲」の次に「乱開発」と続けると修飾語が少なくてすむ。

会長：順番を変えるということでよいか。しかし、「などによる生物多様性の喪失や鳥獣被害などの拡充」にかかるのではないか。そのような訂正は他にないか。

委員：例えば本編 17 ページにある課題のところで黄色の下線が引かれているが、引き方がまちまちなので統一的なルールでもって下線を引くようにしたらどうか。

それぞれある基本目標に関する指標の欄で現況値の欄に平成 30 年度と入れてしまえば、現況値、目標値の数字比較がしやすくなるかと思う。

42 ページの「うつくしこなん実現に向けた

情報発信を推進します」の欄で「外国人の環境意識の向上を図ります」とあるが、多言語化した広報チラシなどの作成配布を行い、外国人の方へも環境の情報を提供していくとか、周知を図るとか、そういった言い方が適切ではないかと考えているが、どうか。

会長：41 ページにも関係している表現がある。そこも同じだ。41 ページがマイルドで「外国人の環境意識の向上を図ります」というのは、やはりニュアンスが違う。42 ページの方は工夫していただくということで、事務局に整理をお願いしたい。他にあればお願いしたい。

55 ページはスペースが余っている。

委員：54 ページに文章をまとめて記載し 55 ページに「計画の推進体制」の図を大きく配置してはどうか。

会長：基本計画案について、ご指摘を色々出していただいた。再度事務局で修正し、あとはお任せしたい。それでよいか。

全員：異議なし

会長：次に、第二次湖南省環境基本計画概要版案について、意見、質問をお願いしたい。

委員：ルビあり、ルビなしについて説明をお願いしたい。概要版 3 ページのこにゃんの説明しているフレーズは本編と整合しているか。「地域のお祭りや」というフレーズが本編に出てきていない。

会長：2 点指摘があったが。

委員：7 番に地域の祭事でお祭りのことが書いてあると読めばいいということなので整合が取れたことになる。

委員：T o p i c の「3 R ってなに？」でとりわけリデュースを強調するようにしたらどうか。今までは本当に 90 年代からリサイク

ルビあり、ルビなしの違いはルビを振ったことによってやさしい日本語版ということで作成予定。こにゃんちゃんの吹出のお祭りの件は、本編 27 ページの基本目標 3、市民の具体的な取り組みの欄 7 番をまとめた形で記載している。

ル、リサイクルと言ってきたがこれからは減らさなければいけない。そのニュアンスが入るとよい。普段から3R、とりわけリデュースを意識するというようにしてほしい。

会長：ルビの件だがルビを振った概要版は具体的にはどのような方を対象としているのか。

会長：他に質問は。

委員：T o p i c 「3R ってなに？」で、前頁の字体と違い、見にくいため配慮していただきたい。

委員：イメージとして、最後の topic 「エコな暮らし」があるが、この計画が答申され周知される時期は少し後になるが、暑い中エコを考えてほしいというのはどうだろうか。今、テレビではエアコンの設定温度を下げるように言っている。整合性をとる必要はないのか。

委員：計画書を年配の方が読まれ「設定温度をもっと上げる」と言われたら私たちは何をしているのか分からなくなる。エコも大事だが、人の命が第一だ。もっと温度を下げてくださいという考え方と話が合わないのでは。

副会長：27度から28度ぐらいが一番適温だと言われている。

委員：T o p i c 横に「エコな暮らしで得しよう！」と書いてあるが、その次の文字が小

確かに図も小さいので、大きくしつつ、強調する方向で検討する。

外国人、小さい子どもさん向けなどの啓発にと考えている。

確認する。

計画書冊子を実際に窓口に置くのは早くても9月末になる。

「27度から28度に設定した場合」という書き方をしており、また「エアコンの使用時間や設定温度を適切にして過ごしましょう」ということも書いてある。27度から28度に設定した場合は、これだけ節約できるという、あくまで例としてお願いできないか。

さいので「エコな暮らしを進めることは二酸化炭素の排出を抑えるだけでなく、お金の節約にもつながります」という前提が読みにくくなっている。趣旨をより明確にするため、字を大きくし、その部分に健康のことを入れるかは別とし、エコな暮らしの説明をはっきりしてはどうか。

会長：もう少し検討をお願いしたい。概要版の表紙の写真は素晴らしいが、字と重なれば見えにくいのではないか。

会長：写真は本編でも使用するものなのか。

委員：写真は、確定なのか。

委員：地域の人、市民が活動している写真が1つも無い。歴史と祭りと自然を使っている。あと、地球が溶けているような絵なので、具体的な表現が、あった方がよいのではないか。地球の絵は、あまりよくないと思う。

会長：まだ変更は間に合うのか。

会長：ご指摘のとおり、地球のイラストはよくないと思う。

委員：中途半端な写真だ。これだけ見ているとわかりにくい。

会長：検討できるものか。

会長：事務局にお任せでよいか。

委員：本編中に使われている写真を表紙に使っているのか。本編中に出ている写真と出していない写真が混在している。

会長：本冊に載っている写真を使った方が説明がついているのでいい。

確かに、ご指摘のとおり「エコな暮らしを進める」の文字が小さいので、目立つよう、検討をする。

概要版、本編とも、この写真を使用するので、見やすいようにする。

同じ表紙になる予定である。

変更可能である。

外注している。写真は商工観光労政課より提供してもらっている。

活動写真も入れるよう検討する。



委員：三重塔はどこ地域にあるのか。

会長：本文にあつて、本文を見れば何か書いてある写真を載せた方がいい。事務局で検討いただくことでよいか。

委員：表紙の文字は残るのか。これはメッセージなので、写真の中に隠れて、文字が無くなった意味がない。温度設定の事で話があったが、今までの常識をはるかに超える温暖化の状況になってきている。8月現在でも国が気候非常事態宣言をしたり、600都市ぐらいが宣言しているほど大変な状況になっている。この計画を出すとき、市長メッセージで大変な危機的状況にあることを入れていただけたらと思う。この計画は10年間の計画で10年先この計画内容で持つかどうかという心配をしている。地球が、地域が、人がもつかということからすると、もっと気を引き締めなければならぬということが出せばよいと思っている。

会長：概要版はご意見が出たので事務局で修正することをお願いしたい。その他について、事務局より説明をお願いしたい。

会長：答申について、8月19日に市長に答申をする。今後の進め方は配布されている資料にあるとおりだ。答申時に市長に手渡すものは、この計画とこの用紙か。

会長：この計画案で答申をする。概要版は、答申とは違う動きという理解でよいか。今後修正し、市長に答申をし、議会への説明ということによいか。

会長：基本計画についてはこれで終了となる

市長の挨拶の中で、そのような内容を入れるよう検討する。

そのとおりである。

本審議会はこの計画案で答申することで終了となる。基本計画は、9月の議会議決後、計画に基づき進めていく。進捗状況など色々のご意見をいただく場をもう一度設ける。3月開催予定である。

が、今年度3月に進捗の確認について環境審議会が開催される。審議事項については以上となる。	
--	--

3. 閉会
-------

野呂副会長あいさつ